

末良 哲 (SUEYOSHI Tetsu)

専門は、都市社会学、地域社会学、ガバナンス論。東北大学文学部卒。現在、博士後期課程3年。

ボブ・ジェソップの国家論、レギュレーション理論に基づき、ローカル・ガバナンス論のありようについて論じてきた。現在は、この視角から、地域社会の変動を見極めることを目標に、その理論研究、そして実証研究との接合を図っている。

主要業績

論文

- ・2002, 「ローカル・ガバナンスの問題構制 B. ジェソップの議論を中心に」『地域社会学会年報 14 地域における『公共性』の再編成』85-108, ハーベスト社.
- ・2002, 「企業家主義的都市の台頭とローカル・ガバナンス」『日本都市学会年報』36: 130-5.
- ・2001, 「地方分権化の戦略と地方自治体のありよう ガバナンス論の展開のために」『日本都市学会年報』35: 148-153.
- ・1999, 「都心コミュニティの再生と創造」仙台都市総合研究機構『SURF』1: 34-38. (斎藤綾美、武田篤志と共著)

翻訳

- ・ジョン・アーリ著 (吉原直樹・大澤善信監訳) 『場所を消費する』法政大学出版社, 2003年. (共訳、第章)
- ・ジョン・アーリ著 (吉原直樹監訳) 『社会を越える社会学 移動・環境・シチズンシップ』法政大学出版社, 2006年. (共訳、第8章担当)

リンク

- ・ [Bob Jessop official](#)

研究カテゴリ